

1 平成26年度 学校経営について

I 教育目標の設定 一神原中校区小中一貫教育をめざして一

小・中学校の連携した取り組みで、生徒指導上や学習指導上の課題の克服をめざし、3校の良さや課題を踏まえた教育目標を統一して具現化を目指す。

学校教育の基本は授業にあり、様々な指導の工夫により、授業の質の向上を図る授業改善の取り組みは最重点課題である。児童生徒一人一人が学びを実感するためには、1年生から中学3年生までの発達段階に応じた一貫性のある継続した取り組みが重要である。

具体的には、学習時の学び方やそれに伴う規範意識の育成と児童生徒の学習意欲を喚起し、生涯にわたって「自ら学ぶ力」を構築するためには、すべての児童生徒が自主的な学習習慣の定着である。それには、学校と家庭、地域の連携が一層重要になり、大きな力となる。こうしたことから、神原小中一貫教育モデル校の実践を踏まえ、3校の教育目標を統一した「総括目標」「具体目標」「めざす子ども像」そして、5つの視点「知」「徳」「体」「コミュニケーション」「地域」に焦点化した内容で取り組む。

II 神原小中一貫教育教育目標

(総括目標)

豊かな人間性と、未来を創造する児童・生徒の育成

(具体目標)

自他を大切にし、自分の良さを発揮する児童・生徒

III めざす子ども像

◎ 「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒

(小学校)

- 1 進んで学習しよく考える児童
- 2 優しい心を持ち、協力し合う児童
- 3 明るく健康でたくましい児童
- 4 思いを伝え合うことができる児童
- 5 地域を知り地域を愛する児童

(中学校)

- 1 目標をもち自ら学ぶ意欲に満ちた生徒
- 2 心豊かで思いやりがある生徒
- 3 明るく健康でたくましい生徒
- 4 積極的に働きかけ視野を広げる生徒
- 5 地域を理解し地域に貢献できる生徒